

科目名称	教育実習（幼）
授業コード	BM30B
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	安部 久美, 小林 咲里亜, 渡部 晃子, 田口 直子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	幼稚園一種免許状取得のために必要な科目である。実際の現場にて幼稚園教諭の在り方を学び、幼稚園教諭としての基礎を培う。具体的には、幼稚園の機能、幼稚園の一日の流れや教育課程・指導計画、幼稚園教諭の職務内容や基本的な役割、職業倫理、幼児の発達や生活などを体験的に学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	幼稚園勤務経験のある外部講師と本学教員による実務経験を活かした指導ののちに、実習先の現職の幼稚園教諭等から指導を受ける。
到達目標	事前指導や既習の教科の学びを基に、保育に関する実践的な知識と技術を獲得するため、幼稚園の機能、幼稚園の一日の流れや教育課程・指導計画、幼稚園教諭の職務内容や基本的な役割、職業倫理、幼児の発達や生活などを体験的に学ぶ。
計画・内容	幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園において、10日間以上、80時間以上の教育実習を行う。原則として、観察実習、参加実習であるが、適宜、部分実習を行う。実習の目標を踏まえ、下記を実習の内容とする。 1 幼稚園の役割、幼稚園教諭の専門性、職務内容を理解する。 2 実習生に必要な学習態度や姿勢を理解し、身に付ける。 3 幼稚園の教育過程、教育方針、教育内容について学ぶ。 4 年齢に応じた幼児の行動を知るとともに、その心情について理解する。 5 幼児の主体的な活動を引き出すための環境の構成や援助について学ぶ。 6 実習日誌を書くことにより、日々の実習の評価、反省を行うとともに、幼児の行動や保育者の援助の分析、考察を深める。
授業の進め方	幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園にて実習を行う。
能動的な学びの実施	幼稚園、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園に身を置き、園の役割、幼稚園教諭の職務、幼児の生活と保育者の関わりへの理解を深める。また、実際に幼児と関わり、部分的な指導実習を行うなど、幼稚園教諭として必要な資質能力を高める。
授業時間外の学修	毎日の実習終了後に実習の振り返り、日誌の作成、翌日の学習課題の設定、教材準備などを行う。
教科書・参考書	「教育実習・保育実習の手引き」 「幼稚園教育要領<平成29年告知>」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領<平成29年告知>」
成績評価方法と基準	実習園の評価(80%)、実習日誌の提出状況、内容(20%)により評価する。実習生の責任において実習を完了しなかった場合、実習園の評価が著しく低く十分な学習が認められない場合は、単位が付与されない。
課題等に対するフィードバック	実習の事後指導において振り返りを行う。

オフィスアワー	Campusquareを参照
留意事項	特別な事情でやむを得ず欠席・遅刻・早退となる場合は、実習生は事前に実習園の責任者および授業担当教員、巡回指導担当教員に連絡をする。実習生の責任において、無断で実習先オリエンテーションおよび実習を欠席・遅刻・早退した場合、実習を中止する。そのほか、実習の手引きに記載されている事項を理解し実習に臨むこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	時期ないし、実習施設を変更し、合計80時間以上の実施における実習を行う。